

ヒュミラ[®]による 化膿性汗腺炎の 治療を受けられる方へ

監修：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 皮膚科 部長 林 伸和 先生



※本冊子中、ヒュミラ[®]皮下注40mgシリンジ0.4mL、ヒュミラ[®]皮下注80mgシリンジ0.8mL、ヒュミラ[®]皮下注40mgペン0.4mL、ヒュミラ[®]皮下注80mgペン0.8mLは「ヒュミラ[®]」と略して記載いたします。

 HUMIRA[®]

abbvie

はじめに

化膿性汗腺炎とは

ヒュミラ[®]について

ヒュミラ[®]治療にあたって

ヒュミラ[®]の安全性

ヒュミラ[®]治療中の体調管理

日常生活について

医療費助成制度

もくじ

はじめに	化膿性汗腺炎の治療の目的	3
化膿性汗腺炎とは？	化膿性汗腺炎の原因	4
	慢性的な炎症と「TNF α 」の関係	5
ヒュミラ [®] について	ヒュミラ [®] の働き	6
	ヒュミラ [®] の効果	8
	ヒュミラ [®] の投与方法	10
	ヒュミラ [®] の自己注射	11
ヒュミラ [®] 治療にあたって	ヒュミラ [®] の治療を始めるにあたって	12
	ヒュミラ [®] を投与できない患者さん	13
ヒュミラ [®] の安全性	ヒュミラ [®] の安全性について	14
ヒュミラ [®] 治療中の体調管理	ヒュミラ [®] 治療中の体調管理	16
	ヒュミラ [®] 体調管理ノート	18
日常生活について	化膿性汗腺炎治療中の日常生活FAQ	22
医療費助成制度	医療費の助成制度について	24
	ヒュミラ [®] の治療にかかる費用	26

この冊子について

化膿性汗腺炎は、赤く腫れ上がって、痛みを伴う“おでき”が繰り返してできる、炎症を伴う慢性的の皮膚の病気です。日本ではこれまで化膿性汗腺炎の治療薬がありませんでしたが、炎症の原因物質を抑える「抗TNF α （ティーエヌエフアルファ）抗体薬」と呼ばれる薬で化膿性汗腺炎の治療を行うと、経過が良好になった患者さんがみられることが分かってきました。

「ヒュミラ[®]」は、日本で初めて皮下注射による化膿性汗腺炎の治療を可能にした抗TNF α 抗体薬です。

この冊子では、「ヒュミラ[®]」の使い方について解説しています。ご不明なことなどがありましたら、遠慮なく主治医や看護師、薬剤師にご相談ください。

また、巻末には体調管理ノートもついていますので、投与記録、及び日々の体調記録としてご活用ください。

化膿性汗腺炎の治療の目的

化膿性汗腺炎の治療の目的は、患部の痛みや腫れを改善することに加え、精神的なつらさも軽減させ、患者さんの生活の質(QOL)を高めることにあります。

患者さんによって、化膿性汗腺炎の症状や合併症は異なりますので、主治医とともにご自身にあった治療法を選択し、うまく付き合っていくことが大切です。

よい状態を保ち、生き生きとした毎日を目指してヒュミラ®による治療に取り組んでいきましょう。

世界100カ国以上で使われている ヒュミラ®

ヒュミラ®は、2026年4月現在までに、日本を含む世界100カ国以上で承認・発売されており、日本では、2008年4月に「関節リウマチ」の治療薬として承認され、2026年4月現在までに「尋常性乾癬*」、「乾癬性関節炎*」、「膿疱性乾癬*」、「強直性脊椎炎*」、「多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎*」、「腸管型ベーチェット病*」、「非感染性の中間部、後部又は汎ぶどう膜炎*」、「中等症又は重症の活動期にあるクローン病の寛解導入及び維持療法*」、「中等症又は重症の潰瘍性大腸炎の治療*」、「化膿性汗腺炎」、「壊疽性膿皮症」、「X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎*」の適応が承認されています。

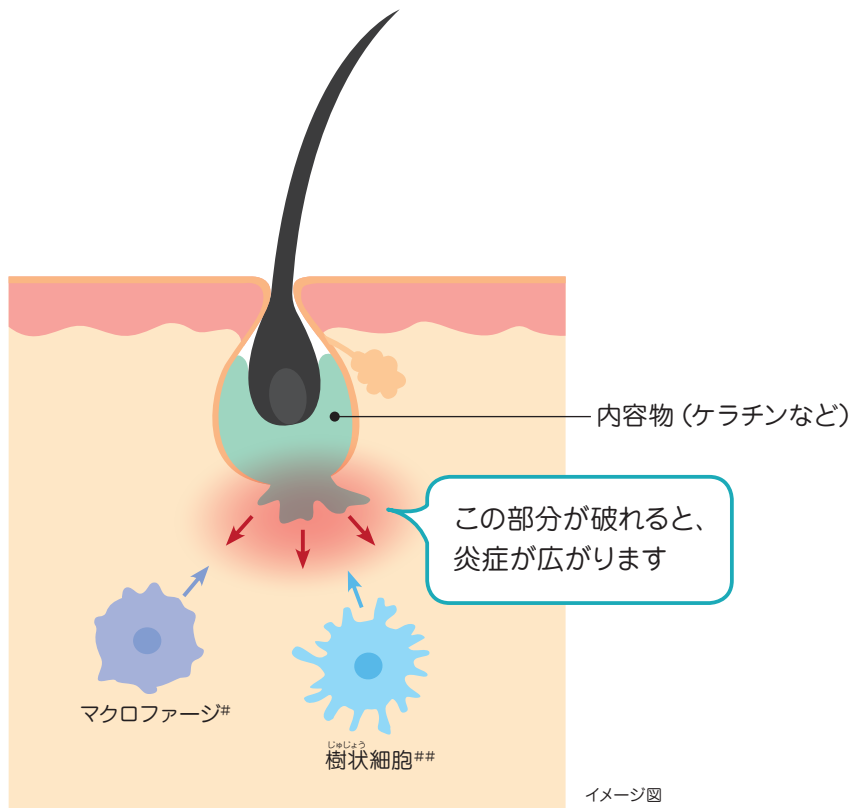
*既存治療で効果不十分例

化膿性汗腺炎の原因

化膿性汗腺炎の原因の詳細はわかりませんが、**毛穴の異常が関係していると考えられています。**

化膿性汗腺炎は、皮膚の健康を守るために重要な働きをしている毛穴が、何らかの原因で詰まってしまい、毛包(皮膚の中の毛を包む組織)の膜が破れ、その内容物が皮膚の内外に漏出し、炎症をおこしてしまうことが原因と考えられています。とくに^{えきか}腋窩や^{そけいぶ}鼠径部※、乳房下などに、このような異常がおきやすく、また、慢性化しやすいことが化膿性汗腺炎の特徴のひとつです。

※腋窩とはわきの下、鼠径部とは足の付け根部分のことです。



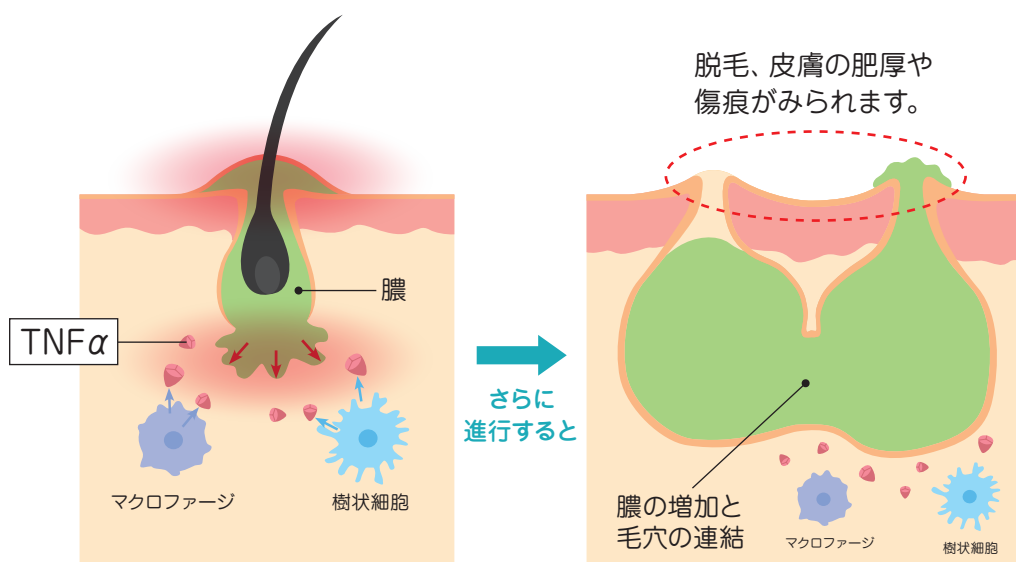
異物(組織内に通常では存在しない物質)を捕獲して処理するとともに、異物に抵抗するための情報を免疫システムに伝える働きがあります。

異物が侵入すると活性化され、異物に抵抗するための情報と指令を免疫システムに積極的に伝える働きがあります。

慢性的な炎症と「TNF α 」の関係

炎症の悪化・慢性化に大きな役割を担うTNF α を抑えると、化膿性汗腺炎の症状軽減が期待できます。

化膿性汗腺炎の根底に潜む炎症には、TNF α と呼ばれる物質が大きく関与しています。炎症は、私たちの身体の防御反応でもあります。炎症の引き金が引かれると、TNF α が増加し、炎症が悪化・慢性化することがあります。このTNF α を抑えると、炎症を鎮めることができると考えられ、そのためのお薬が「ヒュミラ®」です。



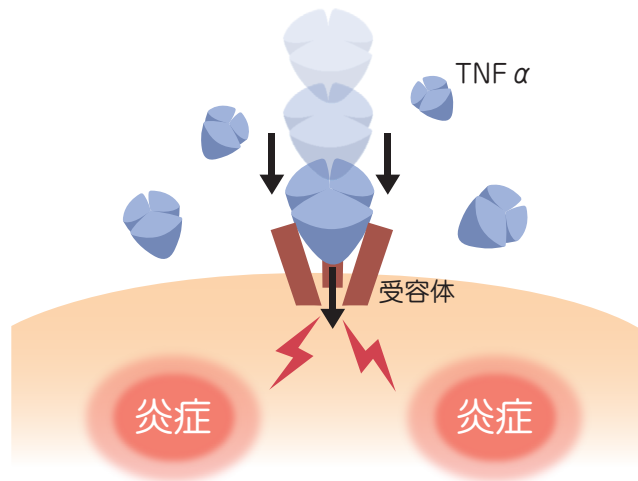
過剰なTNF α が
症状を悪化させます。

イメージ図

ヒュミラ[®]の働き

TNF α が増えると、炎症の悪化・慢性化がみられます

私たちの体内には、TNF α の量が通常な場合は、それを処理するしくみが備わっていますが、通常では処理しきれないレベルの量になると、処理されなかったTNF α は、皮膚の毛根を包む膜などの細胞にあるTNF α の受容体と結合して、炎症を応援してしまうような指令を出してしまうため、毛穴周辺の炎症の悪化・慢性化を招いてしまいます。



イメージ図

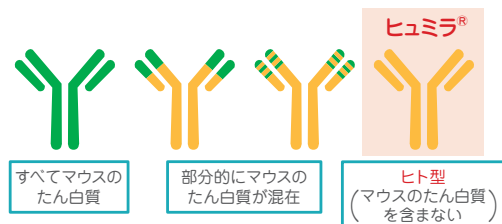
〈ヒュミラ[®]の成分について〉

ヒュミラ[®]は人間に存在する抗体によく似たお薬です

抗体とは、特定の異物(抗原)に特異的に結合して、その異物の生体への作用をなくす物質をいいます。こうした抗体の働きに着目して開発されたのが「抗体製剤」です。

抗体製剤に用いられる抗体には、マウスのタンパク質だけを使用したもの、部分的にマウスのたん白質を使用したもの、マウスのたん白質を含まない人間の体内に存在する抗体に類似したもの(これを専門的には「ヒト型」といいます)があります。

ヒュミラ[®]は、ヒト型の抗体製剤です。



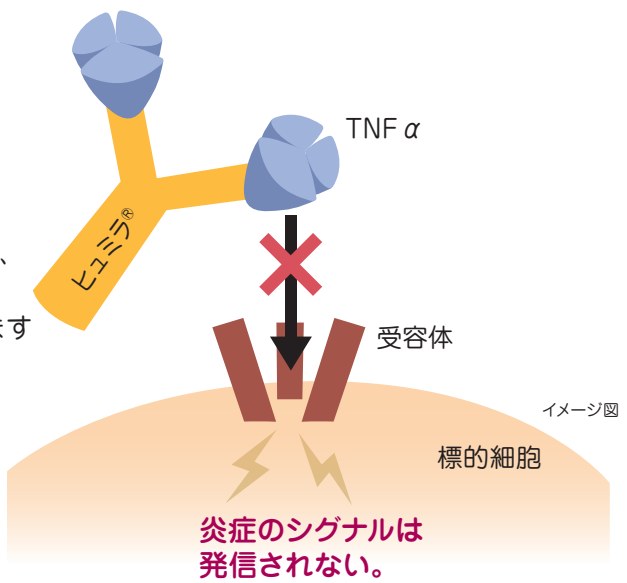
イメージ図

ヒュミラ®
を投与すると

TNF α はヒュミラ®に捕われて 細胞の受容体に結合できにくくなります

はたらき
1

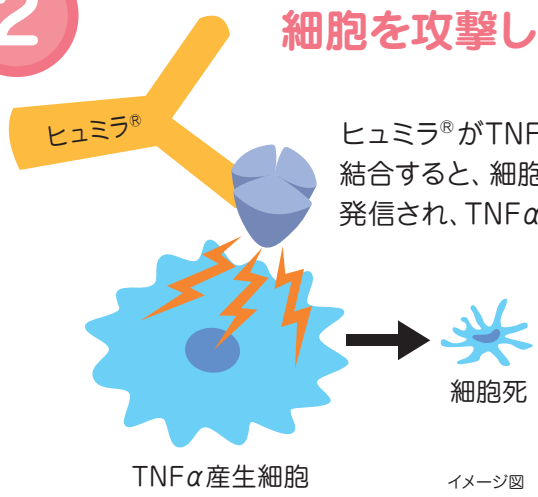
ヒュミラ®は
TNF α をキャッチし、
TNF α が受容体に
結合するのを防ぎます



はたらき
2

ヒュミラ®はTNF α を作る 細胞を攻撃します

ヒュミラ®がTNF α を産生する細胞に
結合すると、細胞内に攻撃シグナルが
発信され、TNF α 産生細胞が壊れます。



「ヒュミラ®」は、TNF α の働きを抑えることで
炎症による症状の改善が期待されます。

ヒュミラ[®]の効果

化膿性汗腺炎の治療では、

- ① 炎症の部位をできるだけ小さくすること
(数、範囲)
- ② 炎症が治まった状態をできるだけ長く維持すること

の2点が求められます。



ヒュミラ[®]による化膿性汗腺炎の治療効果は具体的に、どのようにあらわれますか？



治療効果がみられるまでには、一般的に3ヵ月程度かかりますが、効果の1つとして、以下の項目の減少が期待されます。

- 炎症性結節^{けっせつ}※1の数
- 膿瘍^{のうよう}※2の数
- 排膿性瘻孔^{はいのうせいろうこう}※3の数

このような客観的な効果のほか、副次的に患者さんの痛みが軽減することも期待されます。

注意：ヒュミラ[®]で治療を行ったすべての患者さんにこのような効果がみられるわけではなく、症状が改善しにくい患者さんもいます。

※1：患部にできるしこりやこぶのようなものです。赤く腫れることがあります。

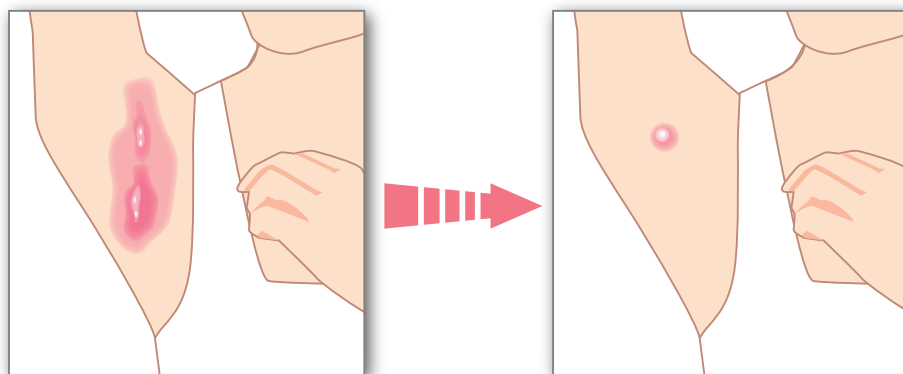
※2：赤くて痛いおできのことで、大きくなり破裂すると膿が出てくることが多いです。

※3：膿瘍や結節が皮膚の下でつながり、トンネルのようになった状態です。痛みを伴い、膿が漏れ出る状態が続きます。

治療経過例

効果のあらわれ方は、治療を始めたときの病変の程度や患者さんの状態などにより異なります。

すべての患者さんで同じような効果が得られるとは限りませんが、一例として、下の図のような効果が期待されます。



治療開始前

治療3カ月後

イメージ図

化膿性汗腺炎患者さんは、
痛みが大きな苦痛の原因
の1つとなっています。

ヒュミラ®による治療
では、痛み軽減が
期待されます。



治療 →



イメージ図

ヒュミラ[®]の投与方法

治療のスケジュール (例) *

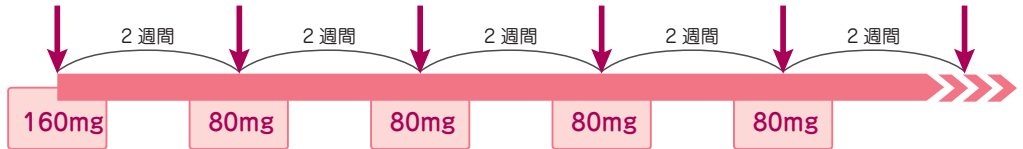
1日目に160mg、2週間後の15日目に80mg、その2週間後(29日目)から40mgを毎週1回、または80mgを2週に1回皮下注射します。

*医師の判断により投与スケジュールが変更される場合があります。

【例1】



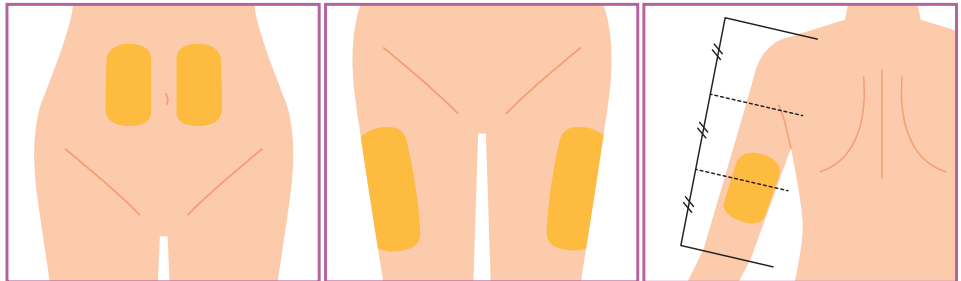
【例2】



イメージ図

ヒュミラ[®]の投与部位

ヒュミラ[®]は、おなか、太もも、二の腕の後ろ側のいずれかに注射します。



おなか

太もも

二の腕の後ろ側

医師の管理指導のもと、自己注射による治療も可能です。



医療機関



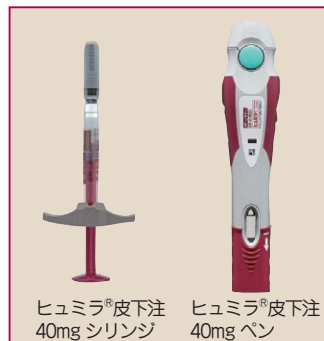
自宅



ヒュミラ®の自己注射

ヒュミラ®の自己注射について

- 主治医が妥当と判断し、医療機関で十分な注射指導を受けたあと、主治医による確認後に、患者さん本人が注射する「自己注射」も可能です。
- 自己注射用には、シリンジ(写真左)とペン型(写真右)の2タイプがあります。
- 正しくより適切に自己注射をしていただくための補助具もご用意しています。

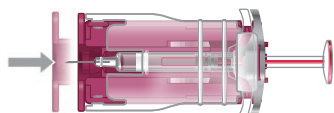


ヒュミラ®皮下注
40mg シリンジ

ヒュミラ®皮下注
40mg ペン

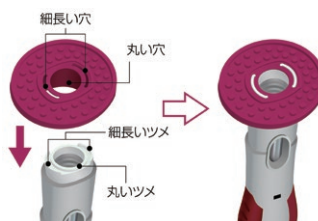
ヒュミラ®皮下注80mgも
シリンジとペンがあります。

[シリンジ用補助具/ヒュープラスN]



シリンジが持ちやすくなり、安定して注射することができます。

[ペン型用補助具/ヒュープラスP]



注射部位に対してペンを垂直に当てやすくなります。また、針カバーの押し込み不足を減らせます。

ヒュミラ®自己注射時のご注意

- ◆ 注射部位は毎回場所を変えます。
- ◆ 皮膚が赤くなっていたり、傷があったり、硬くなっている場所には注射しないでください。
- ◆ ご家族が投与する場合は、二の腕の後ろ側に注射してください。
- ◆ 使用済みの注射器(注射針)は取り扱いに十分注意し、廃棄する容器に入れて、医療機関から指示された方法で処分してください。
- ◆ 注射補助具が準備されているので、シリンジを用いた場合の自己注射の際の針刺しが安定します。

分からないことが
ありましたら
主治医または看護師に
ご相談ください。



自己注射に関するお問い合わせは、24時間対応・年中無休・通話料無料のヒュミラ®サポートセンター 0120-136-037 でも承っています。

ヒュミラ®の治療を始めるにあたって

安心して治療を始めるために、問診と検査を行います。

ヒュミラ®は免疫を司っているTNF α の作用を抑える働きがあるため、使用により感染症にかかりやすくなる可能性があります。感染症の多くは、鼻咽頭炎^{びいんとうえん}や上気道感染などですが、もともとあった結核やウイルス性肝炎などが悪化したり、再発したりすることもあります。このため、ヒュミラ®の治療を始める前には、下記の検査を行って結核が再発する可能性があるか、または重い感染症にかかっていないかをチェックしたうえで治療を始めます。また治療中も必要に応じて検査を行い、有効性と安全性を確認します。

治療の前に行う検査

【結核に対する主な検査】

- ツベルクリン反応検査、インターフェロン γ 遊離試験など
- 画像検査（胸部X線、CTなど）

【感染症に対する主な検査】

- 血液検査（白血球数、リンパ球数など）

【B型肝炎に対する主な検査】

- 血液検査（HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体など）

【その他問診事項】

- 今かかっている病気、服用中のお薬
- 以前かかったことのある病気
- 結核にかかったことがあるか（ご家族も含めて）
- アレルギーの有無
- 「生物学的製剤」の治療歴
- ワクチン接種の予定
- 女性のみ：妊娠・授乳について

治療中のチェック項目 必要に応じて検査を行います

【化膿性汗腺炎に対する主な検査】

- 病変の評価（視診、触診）
- 二次感染の評価（細菌培養）
- 炎症の評価（CRP）

【安全性について】

- 注射部位、あるいはその他の部位に異常はないか
- 風邪などの感染症にかかっていないか
- 体調に変化はないか
- 血液検査（白血球数、リンパ球数など）

ヒュミラ®を投与できない患者さん

下記の方はヒュミラ®を投与することができません。該当する方は必ず主治医に伝えてください。

- 重い感染症（敗血症、肺炎など）にかかっている方
- 活動性結核（治療が必要な結核）にかかっている方
- ヒュミラ®の成分で過敏症が出たことがある方
- 脱髄疾患（多発性硬化症など）にかかっている、もしくはかかったことがある方
- うっ血性心不全の方

ヒュミラ[®]の安全性について

これまでの試験成績から、 ヒュミラ[®]の副作用に関する情報が集められています

副作用は早期発見し適切な治療を行うことで重症化を防ぐことが重要ですので、少しでも異常を感じたらすぐに主治医に連絡してください。

予想される主な副作用

●注射部位反応

注射した場所が、赤くなったり腫れたりすることがあります。

●風邪のような症状

上気道感染や副鼻腔炎など、風邪のような症状がみられることがあります。

●アレルギー症状

発熱・発疹・口内異常感・皮膚のかゆみや赤み・熱感などの症状があらわれることがあります。



特に注意すべき副作用

●重い感染症（結核、敗血症、肺炎など）

発熱や咳、息苦しい、体がだるいといった症状があらわれることがあります。

●アナフィラキシーショック

投与30分以内に、呼吸困難、血圧低下、吐き気などがおこることがあります。

●血液障害

血液中の白血球、赤血球、血小板の一部又はすべてが減少することがあります。

●間質性肺炎

発熱や咳、息苦しい、全身のだるさといった症状があらわれることがあります。

●ループス様症候群

自分の身体に対する抗体があらわれて、関節痛・筋肉痛・あか紅い斑点などの症状があらわれることがあります。



● 脱髄疾患

神経線維の一部が壊されてしまう病気です。代表的な疾患に多発性硬化症があります。ご本人が脱髄疾患にかかっている場合や、ご家族に脱髄疾患と診断された方がいらっしゃる場合は、必ず主治医に申し出てください。

● 劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全

意識の低下、発熱、身体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、食欲不振、尿が褐色になるなどの症状があらわれることがあります。B型肝炎にかかったことがある方は、主治医に申し出てください。

その他の注意事項

● 悪性腫瘍

因果関係は不明ですが、TNF α の働きを抑える生物学的製剤の投与を受けた患者さんで、悪性腫瘍・悪性リンパ腫を発症した方がいました。このため、現在も調査が進められています。

● ワクチン接種

ワクチン接種を希望される場合は、主治医に相談してください。

● B型肝炎

過去にB型肝炎にかかったことがある患者さんは、再び症状があらわれることがあります。



ヒュミラ[®]治療中の体調管理

ヒュミラ[®]治療中は、ご自分で体調管理をすることがとても大切です。

ヒュミラ[®]の治療を受けている期間は、患者さんご自身で体調管理をして頂く必要があります。

「ヒュミラ[®]体調管理ノート」は、注射スケジュールや日々の体調を記入できるものですので、ご活用ください。



体調の変化を感じたら、すぐに主治医または看護師に連絡するようにしましょう。

こんな症状にご注意ください

これらの症状があらわれたときは、次の受診日を待たずに、すぐに受診してください。

●風邪のような症状

熱っぽい、熱がある、咳（からせき）、痰が出る、息切れや息苦しさ、のどが痛む

●皮膚の症状

じんましん、かゆみ、皮膚や白目が黄色くなった
全体に赤く腫れて痛みが強くなった

●その他

口内炎、疲れやすい、だるい



このような症状や「何か体調がおかしいな？」と感じたら、すぐに受診してください。

ヒュミラ[®]体調管理ノート

記入の仕方

この体調管理ノートは、ヒュミラ[®]治療中の体調の変化が記録できるようになっています。注射のことや気になることなど、以下を参考に記録し、受診時に主治医に連絡するようにしましょう。

体調の変化に注意しながらヒュミラ[®]を投与した日について記録しましょう。

ヒュミラ[®]を投与した部位をチェックしておきましょう。

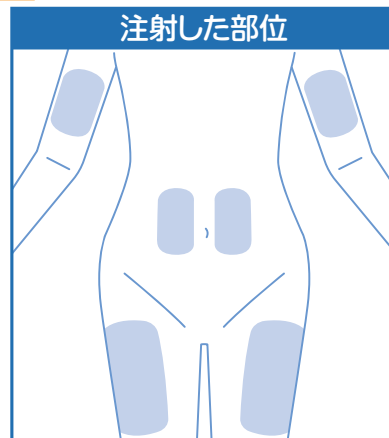
ヒュミラ[®]を投与し始めてからの症状の変化を記録しておきましょう。

ヒュミラ[®]の次回投与日までの体調の変化を記録しましょう。
体温は毎日測って記入しておくといでしょう。
風邪っぽい症状以外にも、気になる症状があれば記載しておきましょう。

自分の体調のことや気になることなどがあったら、体調管理ノートに記入しておき、主治医に確認しましょう。

■ 注射日の記録

日付	5 月 3 日 (火 曜日)
注射部位の腫れ・痛み	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし



■ 症状のチェック

皮膚の症状	症状の改善がみられた日
<input type="checkbox"/> 赤いおできが減った	/
<input type="checkbox"/> おできの痛みが和らいだ	/
<input checked="" type="checkbox"/> 膿が減った	5 / 10

■ 次回注射日までの体調管理

日付	気になる体の不調 (発熱/だるさ/吐き気)	体温
5 / 4 (水)	朝から熱があった	38.5 °C
5 / 5 (木)	のどが痛い	38.0 °C
5 / 6 (金)	咳が少しでる 記入例	37.5 °C
5 / 7 (土)	熱がさがった	36.8 °C
/ ()		°C
/ ()		°C
/ ()		°C
/ ()		°C
/ ()		°C
/ ()		°C
/ ()		°C

■ 注射日の記録

日付	月	日(曜日)
注射部位の腫れ・痛み	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし



■ 症状のチェック

皮膚の症状	症状の改善がみられた日
<input type="checkbox"/> 赤いおできが減った	/
<input type="checkbox"/> おできの痛みが和らいだ	/
<input type="checkbox"/> 膿が減った	/

■ 次回注射日までの体調管理

日付	気になる体の不調 (発熱/だるさ/吐き気)	体温
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃

/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃
/ ()		℃

化膿性汗腺炎治療中の日常生活FAQ

Q 清潔を保つことが重要だと言われましたが、シャワーや入浴時に注意が必要なことはありますか？

A ボディーソープは、敏感肌用で香料などを含まない低刺激性のものを使用し、タオルやスポンジなどは使用せず、手のひらでやさしく洗うようにするといいでしょう。

Q 治療中の食事で気をつけることはありますか？

A ヒュミラ®の効果に影響を及ぼすと考えられる特定の食品は、現時点ではありません。

また、化膿性汗腺炎に影響を与える食事についても、諸説はありますが、確実に特定されている食品はありません。

しかし、海外の調査で、標準体重を超えている人に化膿性汗腺炎が発症しやすいことはこれまでの研究で明らかにされています。¹⁾ 太らないように注意した食事が大切です。とくに、標準体重を超えてしまっている患者さんの場合は、減量を考えた食事を心がけることが重要です。

Q 下着についてのアドバイスはありますか？

A 患部への刺激、下着との摩擦を減らすため、締めすぎないような、ゆったりとした下着を選びましょう。

また、こまめに洗濯して、清潔な下着を着用するようにしましょう。

なお、洗濯には、香料や酵素などを含まない洗剤をおすすめします。

Q 患部のムダ毛の処理は、どのようにすればよいのでしょうか？

A カミソリは、肌への刺激もありますし、傷を付けてしまうおそれもあるので、十分に良くなるまでは、電気シェーバーやハサミでカットするようにしましょう。

Q 治療中に、気分的に落ち込んだり、人との交際に前向きになれないときは、どのようにすればよいのでしょうか？

A 気分が落ち込んだ時には主治医に早めに相談してください。
ご自身を無理に鼓舞する必要はありません。
ご自身の悩みは、主治医や看護師、家族に話してみてください。また、辛い時には、音楽を聴いたり、深呼吸をするなどを試みてください。
患者さんにとっては大きな問題とは思いますが、このようなことで、少しは楽になるかもしれません。

Q 禁煙をすすめられました。喫煙はヒュミラ®の作用に影響するのでしょうか？

A 喫煙はヒュミラ®の作用とは関連ないと考えられています。
しかし、海外の調査で、喫煙は化膿性汗腺炎の発症と関連があることが示されています¹⁾ので、禁煙は必要です。

1) Sartorius K, et al: Br J Dermatol, 161(4): 831-9(2009)

医療費の助成制度について

2026年4月現在

主な医療費の助成制度と概要

公的支援

高額療養費制度 (詳しくはp26参照)

1ヵ月(1日から月末まで)の自己負担が一定の限度額を超えた場合、超過した自己負担額の払い戻しを受けることができる制度。



税金の 医療費控除

1年間の自己負担が一定額を超えた場合、確定申告によって所得税が減税される制度。さらに身体障害者の認定を受けている場合は障害者控除が受けられる。



<「身体障害者手帳」を交付された方>

身体障害者 福祉制度

「身体障害者手帳」を交付された方が、その障害の程度に応じて各種サービスを受けることができる制度。



<介護認定を受けている方>

公的介護保険

40歳以上の方が利用でき、認定された支援・介護度に応じた介護サービスを受けることができる制度。
利用額の1~3割を自己負担する。



<障害年金を受けている方>

障害年金

国民年金、厚生年金などに加入している方で、障害によって日常生活に支障をきたしている場合に年金を受けられる制度。



民間

付加給付制度

ご加入の健康保険による、企業や組合独自の助成制度。



お問い合わせ先

国民健康保険：市町村役場の国保窓口、国保組合の窓口

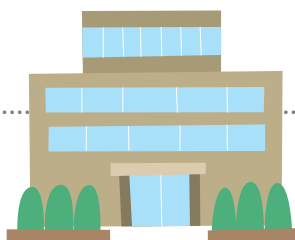
協会けんぽ(旧・政管健保)、船員保険：全国健康保険協会の各都道府県支部窓口

その他：健康保険の保険者(各健康保険組合・共済組合の窓口)

税務署



市町村役場、福祉事務所の窓口



市町村役場、福祉事務所の窓口

国民年金：市町村役場の年金窓口、年金事務所

厚生年金：年金事務所

共済組合：共済組合の窓口、年金事務所

ご加入の健康保険の窓口または会社担当者

支給される金額、制度の利用条件が異なりますので、詳しくは相談窓口へ
ご相談ください。

ヒュミラ[®]の治療にかかる費用

2026年4月現在

参考：ヒュミラ[®]の治療にかかる費用

	初回投与時 ^{*1} 〔40mgを 4本投与した場合〕	2回目 ^{*2} 〔40mgを 2本投与した場合〕	3回目以降 ^{*3} 〔40mgを 月に4本投与した場合〕
1割負担 ^{*4}	約18,740円	約9,370円	約18,740円
2割負担 ^{*5}	約37,490円	約18,740円	約37,490円
3割負担 ^{*6}	約56,230円	約28,120円	約56,230円

この他、診察料や検査料などの医療費が別途かかります

高額療養費制度が利用できる場合がありますので、詳しくはご加入の医療保険やお住まいの自治体にお問い合わせいただくか、医療を受けている医療機関の相談窓口でご相談ください。

※1:40mg(シリンジ0.4mL)を初回到4本投与した場合の推計金額です(2026年度薬価に基づく)

※2:40mg(シリンジ0.4mL)を2週間後に2本投与した場合の推計金額です(2026年度薬価に基づく)

※3:40mg(シリンジ0.4mL)を月に4本投与した場合の推計金額です(2026年度薬価に基づく)

※4:75歳以上で2割負担、3割負担以外の方

※5:70~74歳で3割負担以外の方、または75歳以上で一定以上所得者の方

※6:70歳未満または70歳以上で現役並み所得者など

高額療養費制度とは

- 高額療養費制度では、年齢や所得に応じて、支払う自己負担限度額が定められています。
- 事前に「限度額適用認定証」を申請すると、医療機関等の窓口での支払いが自己負担限度額までとされ、一時的な支払いの負担を避けることができます。また、マイナ保険証(健康保険証利用登録を行ったマイナンバーカード)で受診し、高額療養費制度の申請に必要な情報を提供することに同意すれば、「限度額適用認定証」がなくても、公的医療保険が適用される診療に対しては限度額を超える分の支払いは不要となります。
- さらに負担を軽減する仕組みも設けられています(『多数回該当』、『世帯合算』)。
- 高額な医療費の支払いが必要である場合に、高額療養費が支給されるまでの間、無利子で当座の資金を借りることができる高額医療費貸付制度があります。

※申請方法や詳細につきましては、国民健康保険(国保)の場合には市区町村国民健康保険担当課、健康保険(社保・共済)の場合には、ご加入の健康保険組合にお問い合わせください。

「医療費オンライン相談室」では医療費や利用できる医療費助成制度について、専任スタッフに無料で相談いただけます。詳しくは裏表紙をご覧ください。

明日の笑顔
のために

ヒュミラ®は、患者さんをサポートします

ヒュミラ®の治療を受けている間は、体調に注意し、無理のない生活を送りましょう。また、ヒュミラ®の治療が始まったら、体調管理ノートなどにご自分の状態を記録し、気になることがあったら、主治医に確認しておきましょう。

- ◆ 風邪など感染症を予防するために、
外出から帰ったら手洗いやうがいを心掛けましょう。
- ◆ ヒュミラ®の治療は治療開始4週間後以降は
週1回40mgまたは隔週80mgの皮下注射のいずれかの
投与となります。
主治医の指示に沿った投与間隔で投与してください。
注射日は忘れないようにしましょう。(P.10参照)
- ◆ 治療中は「体調管理ノート」を活用して体調管理に
努めるとともに、からだに無理をかけず、
できるだけストレスのない生活を心掛けましょう。



ヒュミラ®使用中に気になる症状があらわれた場合は、
すぐに主治医にご連絡ください。

ヒュミラ®に関する問い合わせ窓口の紹介

■アッヴィ合同会社 くすり相談室

0120-587-874

フリーダイヤル(通話無料)【9時～17時30分(土、日、祝日、当社休日を除く)】

■ヒュミラ®情報ネット

<https://www.e-humira.jp/patient>



■ヒュミラ®サポートセンター

0120-136-037

フリーダイヤル(通話無料)【24時間対応・年中無休】

ヒュミラ®の自己注射でお困りのことがございましたら、
お気軽にご連絡ください。



ヒュミラ®による治療を検討している患者さんのパーソナルサポート



医療費オンライン相談室

ヒュミラ®使用時の医療費や利用できる医療費助成制度について、
専任スタッフに無料で直接相談いただけます。

[https://www.e-humira.jp/ expense_service/info/html](https://www.e-humira.jp/expense_service/info/html)



施設名